

# ゴウケツモンスター 粒剤

いもち病・紋枯病・稲こうじ病も、  
ウンカ類・ツマグロヨコバイ・カメムシ類も。  
これ一剤でガッチリ守る!

- 新系統の効き目で、  
いもち病菌を強力ブロック!
- 本田処理で、葉いもちから穂いもち、  
紋枯病や稲こうじ病までカバー!
- カメムシ類やウンカ類、  
ツマグロヨコバイも、長期間抑える!

穂いもち

紋枯病

稲こうじ病

カメムシ  
類

トビロ  
ウンカ

ヒメトビ  
ウンカ

セジロ  
ウンカ

さらば、いもち病!



【トルプロカルブ配合】



# ゴウケツモンスター粒剤

水稲用 殺虫殺菌剤

■農林水産省登録:第23707号  
 ■有効成分:ジノテフラン…1.67%  
 シメコナゾール…1.5%  
 トルプロカルブ…3.0%

■性状:類白色細粒  
 ■人畜毒性(製剤):普通物\*  
 \*「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に  
 基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受  
 けない物質を示す。

## ゴウケツモンスター粒剤の特長

新系統の効き目で、  
いもち病菌を  
強力ブロック!

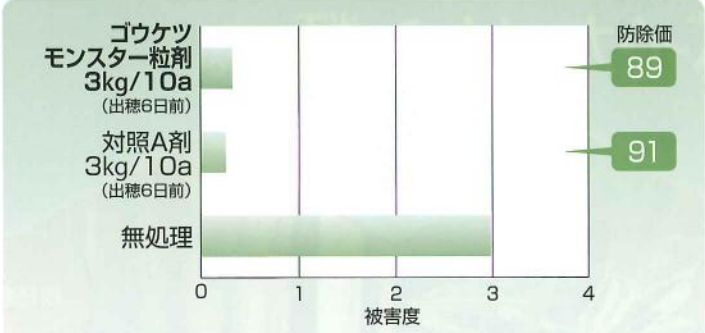


葉いもちから穂いもち、  
紋枯病や稲こうじ病  
までカバー!



カメムシ類、ウンカ類や  
ツマグロヨコバイも、  
長期間抑える!

## 穂いもちに対する効果 2014年 三井化学アグロ(株) 農業化学研究所



試験地:茨城県稲敷市上之島(研究所内露地圃場) イネ品種:キヌヒカリ(4/24播種、5/16移植、8/5出穂) 試験設計:1区14.04㎡、3反復 薬剤処理:7/30、区内に均一に散布  
 穂いもち調査法:8/30、各区15株の全穂について発病程度を調査し、被害度と防除値を算出  
 被害度=A+(B×0.66)+(C×0.26)  
 A:発病穂首率、B:1/3以上枝梗発病率、C:1/3以下枝梗発病率

## カメムシ類に対する効果 2015年 油日アグロリサーチ(株) 場内圃場



試験地:滋賀県甲賀市甲賀町 発生状況:ホソハリカメムシ/少発生、クモヘリカメムシ/多発生、アカスジカスミカメ/中発生、トゲシラホシカメムシ/少発生 イネ品種:キヌヒカリ(4/22播種、5/18移植、8/5出穂) 試験設計:1区192㎡、連制なし 薬剤処理:7/31(出穂約5日前)、所定量を手撒きで均一に湛水散布 調査月日:方法:8/11(処理11日後)、8/19(処理19日後)に捕虫網(径36cm)によるすくい取り(1区3カ所、1カ所20回振り)調査を行い、種別に成虫数を調査。9/16(収穫期)に1区3カ所、1カ所20株を刈り取り、9/25(乾燥調整後)に精玄米10,000粒中の斑点米数を調査

試験成績は「新農薬実用化試験成績」(日本植物防疫協会)より一部転記

## ゴウケツモンスター粒剤の上手な使い方

\*病害虫の発生状況により、登録の範囲内で処理時期を変更してください。



## 適用病害虫と使用方法

2018年6月末日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	シメコナゾールを含む農薬の総使用回数	トルプロカルブを含む農薬の総使用回数
稲	カメムシ類、ウンカ類 ツマグロヨコバイ、フタオビコヤガイ いもち病、紋枯病 稲こうじ病、もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま葉枯病菌)、墨黒穂病	3kg/10a	出穂5日前まで 但し、 収穫45日前まで	1回	湛水散布	4回以内 (育苗箱への処理及び 側条施用は合計1回 以内、本田での散布、 空中散布、無人航空機 散布は合計3回以内)	2回以内 (移植前は1回以内)	2回以内 (移植前は1回以内、 本田では1回以内)

## △使用上の注意事項

- 散布に当たっては、湛水状態(水深3cm程度)で重複をさけ均一に散布し、散布後少なくとも4~5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水及びかけ流しをしないでください。なお漏水の激しい水田では使用をさけてください。
- 蚕に対して影響があるので、以下のことに注意してください。  
 ①ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。  
 ②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。

とくに本剤をはじめ使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

## △安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

本製品は農業用殺虫殺菌剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。本印刷物は2018年6月末日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

- 使用前には、ラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。